

めぐみの森だより

2025年 2月号



社会福祉法人 雲柱社 めぐみの森保育園

☎ 03-3480-4448

以前、テレビ寺子屋で「AI 社会に生きる子どもたちに」というテーマで、今の子どもたちが大人になる頃には AI が当たり前になっていて、その世の中を生きていくためには、今、どのような保育が必要なのか。という汐見稔幸氏のお話がありました。

AI とは「人工知能」のことで、あらゆるものに自分で考えることができるコンピューターを組み込んでいくのです。映像できれいな紅葉を見て楽しむのと、森や山を歩き紅葉を体験するのと一体何が違うのでしょうか。実際に歩いてみると、映像で見るとは全く違います。足を滑らせたり、風が吹いてきてちょっと寒く感じたり、木漏れ日の美しさに気づいたり、予想していないことが次々と起こります。

私たちは「五感」を総動員して物を深く知ろうとするのです。五感を使わないと本当のことはわからない。五感を使って感情が豊かに動き、「あれはいいよね」や、「あれって本当は怖いよね」という価値づけをしていき、これが「物事を本当に知る」ということになる。AI 社会になると「情報はいっぱい持っているけど、本当の意味はわからない」という人間をたくさん作ることになる。子どもたちには直接体験をいっぱいさせてあげてほしい。いろんな人と関わる体験をさせてあげてほしい。AI 社会の中で人間らしく上手に生きるため、幼いころからそういうことを意識して育ててあげて欲しい。とのことでした。

今、れんげ組の子どもたちと過ごしている中でも、「鉄棒って冷たいんだ」や「金木製のいい匂いがする」「転ぶと痛いんだ」「おひさまって眩しいんだ」など気付いていく時期で、五感を精一杯使って生きているのがよくわかります。そして感じたことを言葉にして伝えてくれる時期でもあります。日々過ごしていると見落としてしまいそうなことも、子どもが感じたことには逃さず共感したいですし、私たちも五感を使って精一杯生きる保育者でありたいです。そして、めぐみの森保育園が、子どもと保育者が心を通わせつつ、今の時を、喜びを持って生きていく生活の場であり続けたいです。

記:菅原 飛鳥(副主任)

〈おすすめ〉「大江戸温泉物語 Premium あたみ」

清潔感のある温泉宿が好きなのですが、ここはとにかく綺麗で、働いている方たちの対応や立ち居振る舞いも素敵で、夕食バイキングには離乳食もありました！

① 育ったところは？ 町田市です。

昔は「西の歌舞伎町」と言われていましたが…程よく都会で程よく田舎です。

② 私の意外な特技は？ 意外かどうかは別として、「断捨離」です。容赦なく捨てられます。

③ 無人島に1つ持っていくなら？ すぐ脱出したいので「船」です。

④ 苦手な食べ物は？ 「しいたけ」です。(子どもの前では息を止めて飲み込みます)

⑤ 100万円を使い切る！何をする？ 年末年始など高い時期に、温泉露天風呂付の高級旅館に1週間くらい連泊してみたいです。